2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月２日

上 場 会 社 名	JIG-SAW株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3914	URL	https://www.jig-saw.com/
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	山川　真考
問合せ先責任者	(役職名) 取締役	(氏名)	鈴木　博道　(TEL) 03-6262-5160
配当支払開始予定日	―		
決算補足説明資料作成の有無	：無		
決算説明会開催の有無	：無		

(百万円未満切捨て)

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	3,171	18.7	666	67.8	715	60.9	500	66.4
2025年12月期第３四半期	2,672	3.2	397	△10.6	444	△10.5	300	△16.7

(注) 包括利益 2026年12月期第３四半期　496百万円(　79.5%) 2025年12月期第３四半期　276百万円(　△22.8%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	76.02	75.77
2025年12月期第３四半期	45.58	45.50

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	5,893	3,889	64.8
2025年12月期	5,292	3,368	61.5

(参考) 自己資本　2026年12月期第３四半期　3,816百万円　2025年12月期　3,256百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				―	―

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

当社ビジネスは堅調な推移により現時点で過去最高の売上高が見込まれます。一方、既存のデータコントロール事業の着実な拡大に加え、同領域での生成AIベースにした新サービス立ち上げ、北米におけるIoTデータビジネス、建機分野における自動運転ソフトウエアビジネスの開始等、依然として各種事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が現時点では困難であるため、業績予想について記載しておりません。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	6,751,000株	2025年12月期	6,751,000株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	167,937株	2025年12月期	174,637株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	6,578,885株	2025年12月期３Ｑ	6,593,861株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（セグメント情報等） …… 7
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7

１．経営成績等の概況

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、デジタル技術の活用拡大やデータ利活用の高度化が進み、企業や社会におけるICT活用の高度化が一層加速いたしました。特に、目覚ましく発達する人工知能（AI）の進展は、知的活動の効率化・高度化や生産性向上、さらには構造的課題の解決に大きなメリットをもたらし、あらゆるデジタル分野に広範に普及することで、人々の日常生活や企業等の活動に対して大きなインパクトをもたらしつつあります。そのような状況下で、AI社会を支えるBeyond 5Gやオール光ネットワーク、データセンター等のデジタルインフラの整備・維持は、社会全体のイノベーション促進やデジタル化・DX推進を支える上で一層重要性を増しております。（出典：総務省「令和８年版 情報通信白書」） 。

このような環境の中、当社グループは、独自に保有する基盤コア技術や業界随一の膨大なオペレーションナレッジをベースに、システムマネージ・クラウドマネージ・生成AI制御・IoT分野に加え、自動運転ソフトウエアにおける研究開発・ビジネスデザイン及び各種取り組み等を、国内外において着実に進めております。

当社のシステムマネージ・クラウドマネージ・生成AI制御・IoT分野全体を包括するデータコントロール事業の売上は、安定した完全ストック型ビジネス（サブスクリプションモデル及びリカーリングモデル）の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されております。当社の現時点での主力事業であるシステムマネジメントは、中東情勢の緊迫化に伴う金融資本市場の変動、物価上昇の継続、保護主義的な通商政策、中国経済の減速等の影響を受けることなく、当第３四半期連結累計期間においても、引き続き月額課金案件の受注獲得を推し進め、上場以来過去最高の月額課金売上のプラス成長に着地する潮流が続いております。なお、中長期的な企業価値の向上と持続的な成長を実現するための人的資本経営の強化にも注力し、先行投資は、引き続き過去最高額となりました。

世界の産業用IoT市場は、2033年には４兆7,183億ドルへ拡大すると予測（出典：Straits Research「産業IoT市場サイズと展望 2025-2033」）されており、当社データコントロールサービスのグローバルにおける需要も高まる中、当社は、独自開発のIoTエンジン「NEQTO」やロボット型自動運用プラットフォーム「puzzle」を軸に、あらゆる産業のIoTシステム・デバイスやネットワークサービスを管理・制御する高度なソリューションを提供しております。当第３四半期連結累計期間においては、独自保有する膨大な運用ノウハウと独自エージェンティックAIをベースとしたシステム運用完全自律化SaaS「JIG-SAW Lorel.ai」の正式リリース後、各種機能を順次提供開始しております。引き続きお客様のシステム運用の超省力化と超高精度化に寄与すべく、障害対応や定常運用における手順を定義し、自動実行を可能にするRunbookのリリース、メトリクスを活用した検知の拡充、外部サービスとの連携強化など、継続的な機能拡張を行ってまいります。ロードローラにおける業界標準の自動運転・自動操縦ソフトウエアの開発プロジェクトについては、「自動運転ローラ（ARMs）」が顧客へ納品され、事業成果創出にも着実に結びついております。さらに、本プロジェクトに飛鳥建設株式会社と若築建設株式会社の参画が決定しました。これにより、合計11社の建設会社が本プロジェクトに参画しており、「自動運転ローラ（ARMs）」の市場展開と完成度を高める研究開発を継続してまいります。また、各種クラウドを包括管理する「JIG-SAW Prime」では、取引総額が777,645千円（前年同期比22.6%増）増加しました。今後の高い事業成長を実現すべく、将来に向けた先行投資額は、過去最高を更新し、前年同期と比較して約174,000千円の増加となりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,171,462千円（前年同期比18.7％増）、営業利益666,629千円（前年同期比67.8％増）、経常利益715,621千円（前年同期比60.9％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益500,115千円（前年同期比66.4％増）となりました。

当社グループは、データコントロール事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（２）財政状態に関する説明

(資産)

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は、4,379,339千円（前連結会計年度末比423,688千円増）となりました。これは主に、現金及び預金が増加（前連結会計年度末比243,476千円増）、前払費用が増加（前連結会計年度末比141,026千円増）したことによるものであります。

また、固定資産は、1,513,691千円（前連結会計年度末比176,626千円増）となりました。これは主に、長期前払費用が増加（前連結会計年度末比205,806千円増）した一方で、有形固定資産が減少（前連結会計年度末比31,163千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第３四半期連結会計期間末における総資産は、5,893,031千円となり、前連結会計年度末に比べ600,315千円増加いたしました。

(負債)

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は、1,529,804千円（前連結会計年度末比190,466千円増）となりました。これは主に、未払法人税等が増加（前連結会計年度末比106,750千円増）、買掛金が増加（前連結会計年度末比59,989千円増）、その他に含まれる未払消費税等が増加（前連結会計年度末比47,896千円増）したことによるものであります。

また、固定負債は、473,388千円（前連結会計年度末比111,988千円減）となりました。これは主に、長期借入金が減少（前連結会計年度末比127,497千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第３四半期連結会計期間末における負債は、2,003,193千円となり、前連結会計年度末に比べ78,478千円増加いたしました。

(純資産)

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、3,889,837千円（前連結会計年度末比521,836千円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加（前連結会計年度末比500,115千円増）したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社ビジネスは堅調な推移により現時点で過去最高の売上高が見込まれます。一方、既存のデータコントロール事業の着実な拡大に加え、同領域での生成AIベースにした新サービス立ち上げ、北米におけるIoTデータビジネス、建機分野における自動運転ソフトウエアビジネスの開始等、依然として各種事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が現時点では困難であるため、業績予想について記載しておりません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,380,933	2,624,410
売掛金	1,386,587	1,434,138
前払費用	171,174	312,201
その他	24,821	8,745
貸倒引当金	△7,865	△156
流動資産合計	3,955,651	4,379,339
固定資産		
有形固定資産	412,266	381,103
無形固定資産	43,032	41,609
投資その他の資産		
投資有価証券	218,876	226,596
敷金及び保証金	450,806	436,143
長期前払費用	19,769	225,576
繰延税金資産	146,471	156,852
その他	46,380	46,350
貸倒引当金	△540	△540
投資その他の資産合計	881,765	1,090,979
固定資産合計	1,337,064	1,513,691
資産合計	5,292,716	5,893,031
負債の部		
流動負債		
買掛金	831,819	891,808
1年内返済予定の長期借入金	169,996	169,996
未払金	173,312	149,918
未払法人税等	51,260	158,011
その他	112,949	160,070
流動負債合計	1,339,337	1,529,804
固定負債		
長期借入金	530,010	402,513
その他	55,366	70,875
固定負債合計	585,376	473,388
負債合計	1,924,714	2,003,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,107	351,107
資本剰余金	317,237	353,472
利益剰余金	3,169,859	3,669,975
自己株式	△709,327	△682,113
株主資本合計	3,128,876	3,692,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,593	32,149
為替換算調整勘定	95,534	91,748
その他の包括利益累計額合計	127,127	123,897
新株予約権	111,997	73,499
純資産合計	3,368,001	3,889,837
負債純資産合計	5,292,716	5,893,031

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	2,672,507	3,171,462
売上原価	802,646	906,455
売上総利益	1,869,860	2,265,007
販売費及び一般管理費	1,472,599	1,598,378
営業利益	397,260	666,629
営業外収益		
受取利息	1,591	3,595
受取配当金	4,315	3,890
受取手数料	40,330	44,702
投資有価証券売却益	3,172	―
持分法による投資利益	2,686	3,616
その他	585	854
営業外収益合計	52,682	56,658
営業外費用		
支払利息	3,053	7,611
為替差損	1,128	―
自己株式取得費用	1,062	―
その他	3	55
営業外費用合計	5,248	7,666
経常利益	444,695	715,621
特別利益		
新株予約権戻入益	5,681	―
特別利益合計	5,681	―
税金等調整前四半期純利益	450,376	715,621
法人税、住民税及び事業税	96,360	226,130
法人税等調整額	53,452	△10,624
法人税等合計	149,813	215,506
四半期純利益	300,563	500,115
親会社株主に帰属する四半期純利益	300,563	500,115

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	300,563	500,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,925	556
為替換算調整勘定	△16,857	△3,785
その他の包括利益合計	△23,783	△3,229
四半期包括利益	276,780	496,885
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	276,780	496,885
非支配株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、データコントロール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	66,800千円	60,362千円